

気宇壮大(学校だより)

第18号 平成19年11月30日発行

第2回学校協力者会議(提言部会)、 第3回学校協力者会議(評価部会)報告!

9月26日(水)、本校校長室において第2回学校協力者会議(提言部会)を、また、11月1日(木)には第3回学校協力者会議(評価部会)を開催しました。それぞれの部会について、以下のようにご報告いたします。

第2回学校協力者会議(提言部会)

学校からの説明:これまでの「提言」を踏まえた学校としての取組みについてご報告し、成果と課題について説明。その後、学校の現状報告。

【これまでの提言】

優秀な選手確保のための「寮」建設に関して 市・教育委員会へ要望(市文教委員会の視察時ハイスクールビジョン推進会議等において)

授業の充実 各教科年間研究テーマの設定、取組み。市立高校公開研究授業や授業観察の実施
保護者 学校連携の活発化 PTA活動の活性化、学校へ行こう週間での「学年委員会」行事の開催、出席者増への取組み。

体育コースの活性化及び卒業生の追跡調査の実施 今後、校内で体育コースの将来構想やあり方について検討し、順次取り組む予定。

近隣施設との災害時の連携強化 地域の防災訓練等への参加態勢を検討する。

【現状報告】:「学校だより」「沼高トピックス」等を資料として、本校の現状説明

質疑応答・提言

進路に関して最近の希望動向を聞かせてほしい。

最近、AO 推薦入試志望者が増え、資格取得をめざす専門学校進学希望も多くなっている。何をしたらいいのかわからない、学習の方法がわからず、安易な進路選択をする生徒もおおいのではないかと。保護者としても、もっと子どもの進路決定にしっかりと関心を持つことが大切で、PTAの「進路委員会」なども必要ではないかと。

進路決定に向けては、学力向上のため、家庭学習調査や週末課題提出など、いろいろと取組みを強化している。進路情報に関しても、1年次から職業研究や大学訪問、模擬講義などを行い、意識化に努めている。PTA「進路委員会」はぜひ設置を考えたい。

他の進学校の情報では、課題がかなり多く出されており、生徒も大変なようだが、本校はのんびりしているように思う。これで(進路は)大丈夫なのかと心配だ。しっかり鍛えてほしい。

今、英教国においては、1 2年生に週末課題を与え、翌週提出させるなどの取組みに加え、未提出者には、放課後残って学習し、最優先で提出させる取組みを行い、一定の成果も現れつつあり、今後とも継続する。しかし、課題等が負担になり始めている生徒もあり、なぜ普通科高校で、教科学習をしなければならないのか、しっかりとした目的意識を持った学習姿勢を育成することが欠かせない。

地域の信頼を得るためには、もっと地域の人と顔見知りになる、触れあう機会を持つ必要がある。不審者対策として、のり面の草を刈ったり、PTAで巡回も必要ではないか。

この夏、保護者の方が自主的に草刈りをしてくださり本当にありがたかった。のり面も一部は、予算の範囲内で実施しているが、全部は難しい。

バスの入り口に固まる生徒が多いと聞くが、乗車マナーはどうか。

座れるのに座らず、友人と話している生徒もあり、今後マナーについて指導する。3年前まではマナーについて、バス会社からの苦情もあったが、最近はない。

ビッグハウスでの買い食い、男女交際などもマナーを守ってほしい。

バス停にジュースの空き缶を置いたりする生徒はいるが、希望の階段も以前よりはゴミも少なくなっており、いくらかマナーの向上は見られるが、引き続き指導を行う。

第3回学校協力者会議(評価部会)

学校からの説明:提言部会での「提言」報告、校内の中間評価(自己評価)について報告、不審者情報について報告。【「中間評価」は別途資料あり:本校HPに掲載予定】

質疑応答・評価

寮の建設に関して、市教委からはどのような反応があるのか。

市の財政も厳しく、なぜ「寮」が必要なのかを根拠を示して要望しているが、厳しい状況である。全国的にも寮を持っている公立体育系高校はまだそれほど多くはない。

学力向上をめざし研修会が実施されたようだが、その場に学力テストを行っている「ベネッセ」による分析も示されたというが、どのような指摘があったのか。

PTA主催の学力テストは、全国で40万人近い高校生が参加して実施されている。本校のデータからは、まだまだ伸びる可能性があり、もっと目標を高くして、力を伸ばす指導が必要との指摘があった。

進路分析を、そういう企業に委ねるといえるのか。

本校でもデータ分析を独自に行っている。中間評価で、進路指導部がイニシアティブをとっているという部分に低い評価が為されているが、これは各学年が主体的に取り組んでいるともいえる。フロンティアクラスの取組みは、学年を中心に学校全体で取り組んでいる。

そういう取組みは、教職員に広く認知されているのか。

今後とも、情報を共有し、もっと組織的に行う必要があると考えている。そうした進路指導(学習指導)に有効な場所(空間)の確保という点で、本校では本格的な「自習室」の設置も要望しているが、なかなか外部には理解されにくい。

自習室は、「個性」を尊重する取組みであり、必要だ。同じ気持ちを共有する生徒同士が集まり、学習に特化して頑張ろうという雰囲気が出てくる。ぜひ実現してほしい。

山口県でも、すぐ質問ができるので、放課後に職員室の廊下に机を置いて、受験勉強している高校がある。また、廊下で頑張っている3年生の姿を見れば下級生の自覚にもつながる。図書室は全学年が使用するし、教室は出入りがある。確かに自習室を設置し、そこは「学習の専用室」とするのはよいことだ。プロの建築家と相談し、勉強する場所、それを見せる場所としてデザインしてもらい、提示してはどうか。

既に、本校の先生がデザインしたものは市教委に示してある。今年の夏休みに、教室を用いて「自習室」を開設した。1 2年生は使用者が少なかったが、3年生は、かなり利用していた。ぜひ、学習に集中できる本格的な場所を確保したい。

その場合、やはり生徒の意見を聞くことも大切である。生徒が望むもの、勉強したくなるような空間を考えてほしい。

フロンティアクラスや学力向上への取組みなど、先生方の仕事量が増えているが、カウンセリングなど対策は立てられているか。

スクールカウンセラーの配置がなされており、生徒対応に関して様々なサポートはいただける。先生方の仕事量の増加などに関しては、現在、勤務状況の把握や適正化に努めている。先生方を守るために、学校でさまざまな問題が起きたとき、みんなで取り組めるシステムがあるとうい。

本校では、それぞれの課題に対応する「プロジェクトチーム」を組織して、有機的に取り組めるようにしている。保護者との連携を密にして、しっかりと対応するようにしている。

不登校生徒、転退学生徒数はどれぐらいなのか、

本校の定員は、840名であり、現時点で在校生は、829名。ここ3年間で、11名が転学や退学をしていることになる。現在も、進路変更を考えている生徒、休学中の生徒も数名いる。

中間評価では、NIEの取組みが学校全体で共有されていないという低い評価であるが、どういう事か。

NIE実践校となっているが、昨年まで、複数紙の比較読みを行い、メディアリテラシーの育成を行っていたが、今年は、これから実践を行う。これまでとは、ちがった手法で取組みを行うことになりそうで、今、準備中であり、まだ態勢が整っていない点を評価したものだ。この項目については、努力目標の立て方が、到達グレードを示したのではなく、あれもこれもと欲張り過ぎた立て方になっているので、来年から欲張らずに、すっきりしたものにしてほしい。

沼田高校も地域の公民館を利用している生徒が多く、ぜひ先生方も見に来て、声をかけて励ましてやってほしい。生徒には、マナーを守って、もっといろいろな場面で公民館を利用してほしい。

公民館活動において、高校生にジュニアリーダーとして頑張ってもらいたいという要望は以前にもいただいている。できれば、そうした活動を指導・援助するコーディネーターや指導員を配置していただくとともに、ネットワークが広がるのではないかと。教員も、仕事ではなく、それぞれが居住地で、地域住民として高校生とともに地域づくりに参画できるようにしてほしいのかもしれないが…。

公民館などでも、高校生にとっていろいろなチャンネルが提示され、ニーズに合わせて利用ができるようになるとうい。

この学校協力者会議の内容を、会議の委員によって、PTAや保護者会などでお話できれば、もっと沼田高校の取組みをアピールすることも可能である。検討してほしい。

参加13校の中から選ばれて、見事、**金賞（広島県知事賞・広島市長賞）を受賞し**、中国大会出場を成し遂げました。

続く11月23日（金）24日（土）、山口市で開催された中国地区高等学校演劇発表会では、広島県代表として参加。全国大会出場をめざして頑張りましたが、残念ながら入賞を逃しました。「来年こそ…」全国大会への再チャレンジを誓いました。

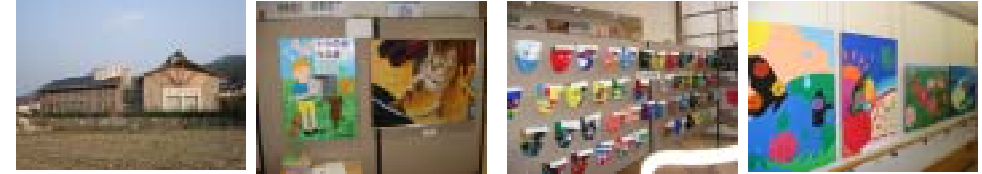


「十六の会作品展」開催中

「十六の会」（沼田地区の小・中学校・高校・大学、十六年間に在学している児童・生徒・学生を対象）の第6回作品展が、11月15日から26日までは戸山公民館で開催され、11月29日から12月10日まで沼田公民館で開催されています。作品展も6回目を迎え、個性豊かな作品が多く、本校も美術部が参加し、町内の多くの人に作品を鑑賞して頂いています。

【会場の戸山公民館】

【本校生徒作品】



広島市立高等学校公開研究授業を本校で実施

11月21日（水）5限、1年4組「情報A」を担当されている情報科の濱田浩子先生が、公開研究授業をされました。他の市立高校から3名の先生を迎えて、授業をもとに、「情報」における「ネチケット」など情報モラルをいかに育てるかという視点で研究協議を行いました。広島市立大学情報科学部から大場充教授をお招きして、広島市のメディア対策審議会の委員でもある専門的な立場からさまざまな指導助言をいただき、時間が足りないほど活発な発言が続ぎ、大変有意義な会となりました。

また、11月26日（月）6限、2年4組「英語」を担当されている英語科の前田典男先生が、公開研究授業をされました。他の市立高校から4名、大学から5名の先生方にお越しいただきました。研究協議では、文法事項をどのように内容と関連させて深い「読解」へ導くか、いかに補助教材を活用して学習へのモチベーションを高めるかといったテーマで、各校の取組みも発表してもらいながら話し合いを行いました。

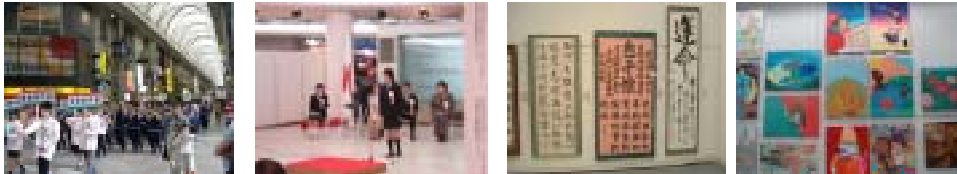
広島市教育センターの堂鼻康晴指導主事から、今回の授業をおして多くの指導ポイントについて指摘があり、助言をいただきました。

本校では、今後もこうした公開研究授業などをおして、継続的に各教科の授業改善に取り組めます。



沼高折々の記

広島県高等学校総合文化祭開催！演劇部、金賞受賞！！



11月4日（日）広島県高等学校総合文化祭のオープニング行事があり、本校吹奏楽部も本通りアーケードをパレードして、開催をアピールしました。当日は、地下街シャレオ中央広場において、総合開会式が行われ、本校演劇部の岡田恵里子さん（1年）が開会宣言をしました。この県総文には、本校から演劇部、書道部、美術部、囲碁（個人）が参加しており、書道・美術作品展は広島県立美術館で開催されました。

広島県高等学校総合演劇大会は、11月10日（土）11日（日）に、広島市東区民文化センターを会場に開催されました。本校演劇部は、「イクバルの闘い～世界一勇気ある少年～」を上演し、